

鹿児島流

熱いハートの医師 育てます



忠元公園・桜祭(伊佐市) 写真協力:鹿児島県PR・観光戦略部観光課

私の臨床研修医時代

総合病院鹿児島生協病院
院長 樋之口 洋一

私は1987年(昭和62年)に鹿児島大学医学部を卒業しました。小児科臨床医を目指していましたが、医療の基本は内科と考えどちらも経験させてもらえる市中病院の鹿児島生協病院に入職し研修を開始しました。一年目は内科全般の研修(今でいう総合内科)を行い、次の半年は奄美市にある奄美中央病院で内科研修を行いました。

勤務初日にハブ咬傷の処置の仕方を教えていただきましたが、その年は当たり年?だったようで半年間で4回経験しました。ハブ血清を打つと必ずといってよいほど気分不良、血圧低下を認め、ヒヤヒヤしながら傷の処置をしていたことを覚えています。

2年目の秋から鹿児島生協病院で小児科研修を開始しました。小児科全般なんでも屋を経験させていただき、その後東京女子医大で新生児、国立小児病院(現国立成育医療センター)で麻酔・集中治療研修を行い、鹿児島生協病院に帰任しました。私のつたない経験から皆さんにお伝えしたいのは、「経験したことはすべて身になる」ということです。自分の専門分野以外でも、医学に限らず何でも後々使えたと実感しています。他職種との交流も含め是非いろんな事に首を突っ込んでください。



現在



研修医時代

指導医の思い出



出身地：東京都

たくち しゅうへい
田口 周平

勤務先 鹿児島徳洲会病院

出身校 私立駒場東邦高校
→鹿児島大学

私は湘南徳洲会で、ローテイト研修、一般内科研修を受けた。研修時代は、考えるより慣れる、広い知識があれば人から馬鹿にされずに済むという考えで、詰め込み路線で頑張った。今となつては、この取り組み姿勢に対して、戒めの気持ちが強い。疲れることが多く、苦労した割に知識の歩留まりが悪く、応用力がついておらず、時代や環境が変わるとついていけないことが多く、理解困難事項が減らず、焦燥感、絶望感が累積した。研修医は、暗記よりも、事象を理解、抽象化し、知的ツールを活用できることを目標にするのがよいと思う。不毛な研修だったが、その後の反省につながった。そんな研修医でも見守ってくれた病院の寛大さを、今感じる。



出身地：指宿市

たけだ あや
武田 亜矢

勤務先 鹿児島大学病院

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

鹿児島大学の桜島コースで研修しました。多くの素敵な指導医との出会いは、先輩後輩・診療科間といった縦横の繋がりとになり、今でも多くの刺激や指導を頂くかけがえのない財産です。入局後も、手術書に載っていないこと、体で覚えることなど貪欲に蓄えてきました。注射アンブルを胡椒の様に振って中身を出そうとする私を爆笑していた指導医は、実の先輩となり今や術式や治療方針であれこれ言い合い、気付けば私が後輩を指導する立場となりました。とはいえ、若い先生方に教えられること多々あり、共に精進する日々です。

妊娠・出産に関しては前例が少なく、家族&医局の協力下に手探りでフル復帰しましたので、今後の一参考例になればと思います。



出身地：霧島市

しもかわはら なおと
下川原 尚人

勤務先 鹿児島市医師会病院

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

平成5年、何となく『内科かな?』と思い、鹿児島大学消化器内科に入局しました。当時の指導医は四六時中僕のそばにいて、患者さんの症状・疾患の説明をしてくれたり、時には手技の練習台になってくれたりしました。姿を見ないなと思ったときには患者さんやその家族と、いつも病気の話から世間話まで色々な話をしていました。とてもにこやかな雰囲気で、「あー、いい関係性だな」と思ったのを覚えています。『人の話をしっかり聴く、誰にでも思いやりを持って接する』という、当たり前のことを当たり前にやることの大切さを指導医の背中から教わりました。そんな医者(人間)になろうと心に決めて早26年。まだ自分の目標です。



出身地：鹿児島市

はせがわ すすむ
長谷川 将

勤務先 霧島市立医師会医療センター

出身校 鶴丸高校→鹿児島大学

私の時代は大学卒業後即入局の時代で、ゆっくり研修しながらやりたいことを見つけるなど余裕はなく、学生時から内科系か外科系かを決めておく必要がありました。直前まで迷った挙句、内科系を〜と当時大人気の鹿児島大学旧第二内科に入局しましたが、人気が故同期は30人を数え、附属病院の受け持ち患者数が少なく、もっと患者を、もっと経験を、もっとお金を〜と飢えていた記憶があります。皆様は少なくとも経済的問題を気にする必要のない環境にあります。

先輩からの助言として、まずは患者さんと密に接し情報を聞き取る技術や気持ちを理解するスキルを向上させ、指導医や先輩方のアドバイスを聞く耳をもち、自らの足で動かししょう。



研修医の声



出身地：鹿児島市

はぎはら たかひろ
萩原 尊礼

研修先》**県立大島病院**

出身校》ラ・サール高校→鹿児島大学

初期研修も早いものでもうすぐ一年が経とうとしています。早いものとは言ったものの、やっぱりとても長く感じているのが正直な感想です。最近是不分らないことがどんどん増えてきて、改めて気を引き締めてこれからの研修生活を送っていかねければと思っています。

自分の研修している県立大島病院は、奄美群島の医療の「最後の砦」を担っている病院です。医療資源が豊富とはいえない環境で、上級医の先生方は診療科の垣根を超えて頑張っています。自分たちもこの先生方の背中を見て、少しでも同じように活躍していけるようこれからも成長していきたいと思っています。



出身地：鹿屋市

よしどめ ひろと
吉留 寛人

研修先》**今給黎総合病院**

出身校》志学館高校→久留米大学

今給黎総合病院で研修を始めて10ヶ月が経とうとしています。

はじめはこんな自分がやっていけるか心配でしたが、同期や先輩、指導して下さる先生方、事務やコメディカルの方々に助けてもらいながらなんとか一年をむかえられることができそうです。

現在救急外来をまわっており、外傷だけでなく市中病院ならではの様々な疾患をみることができ、とても勉強になっています。

今まで全然知らなかったことだらけで失敗も多く、まだまだこれから先、多くの経験を積んで医療現場の一員として貢献し、患者さんに寄り添える医師になるべく精進したいと思います。



出身地：福岡県

いまだ りょう
今田 涼

研修先》**国立病院機構 鹿児島医療センター**

出身校》東筑高校→鹿児島大学

二年間の研修ももうすぐ終わりを迎えようとしています。鹿児島医療センターの研修では科によっては外の病院での研修も可能であるため、この二年間で大学病院だけでなく、霧島医療センターや宮上病院（徳之島）、長崎医療センターなど多くの施設の指導医の先生方やスタッフの方たちにお世話になり、多くのことを学ぶことができました。そうして外の病院で研修することで、鹿児島医療センター内での研修では、やはり他の病院と比較するとより多くの脳血管障害・循環器疾患を経験できたと改めて感じます。

四月からは後期研修医となり専門科に進みます。この二年間で学んだことを生かしつつ、初心は忘れずに日々精進していきたいと思っています。



出身地：鹿児島市

ふじさき しろう
藤崎 志郎

研修先》**鹿児島市立病院**

出身校》ラ・サール高校→鹿児島大学

鹿児島市立病院で研修を始めてから、早いもので半年が過ぎました。

各診療科をローテーションしながら研修させて頂いていますが、どの診療科でも指導医との距離が近く、親身に指導して下さい、日々一人前の医師に必要な技術と心構えを学ぶ事が出来、充実感を覚えています。また救急当直では軽症から重症まで様々な症例を、頼りになる二年目の先輩方と救急科指導医の下で対応していることは将来どの診療科に進むにせよ、大きな経験になっていると思います。

これからの一年は将来の進路を決定する大切な年になると思いますが、後悔しないよう日々一生懸命研修に励みたいと思います。

トピックス



指導医養成講習会を開催しました

11月17日(土)、11月18日(日)に、研修医に対する指導を行うために必要な『7年以上の臨床経験を持つ医師』を対象に、「第9回鹿児島県臨床研修指導医養成講習会」を開催しました。

受講者は、臨床研修制度や、鹿児島県の地域医療の現状について、また、指導をするにあたって必要な研修目標の立て方や評価の仕方など、16時間以上にわたってプライマリ・ケアの指導方法についての講習を受けました。

また、この講習会は厚生労働省の開催指針に則っており、修了者には厚生労働省医政局長名の修了証が授与されました。

当協議会では、研修医の方々がより良い研修を受けられるように、様々な取り組みを行っていますので、ぜひ安心して鹿児島にお越しください!



16医療機関から34人の医師が受講しました



グループワークの一コマです

第18回鹿児島県臨床研修医合同研修会を開催しました

1月12日(土)に、臨床研修医や医学生の皆さんが、本県で医師としてキャリアを形成していくことをサポートするため、『第18回鹿児島県臨床研修医合同研修会』を開催しました。

当日は、臨床研修医をはじめ156名の関係者が出席し、県内の臨床研修医8名が、これまで経験等を発表したほか、臨床経験10年の先輩医師が、「研修医へのメッセージ」として、自身の体験談に基づいたアドバイス等を発表しました。

参加した研修医からは、「今後の診療に役立つ内容がたくさん聞けた」、「同年代の医師が頑張っている姿を見て刺激をもらった」、「先輩医師の発表は、今後の医師人生に役立つ内容だった」など好評をいただきました。

来年度もこの研修会を2回開催する予定です。



県内の初期研修医が、自分が経験した症例について発表を行いました



座長は研修医も務めました



研修医に向けて、先輩医師からのアドバイス等を発表しました

イベントライブラリ ♪♪協議会のイベント情報♪♪

現在、協議会で予定しているイベントの開催・参加情報は次のとおりです。詳細は、事務局までお問い合わせください。多数のご参加をお待ちしています♪

○レジフェス福岡(日程:平成31年5月19日(日) 場所:福岡国際会議場)

○レジフェス鹿児島(日程:平成31年6月16日(日) 場所:かごしま県民交流センター)

○県外医学生等出前セミナー(随時開催 希望があれば県外どこでも伺います。お気軽に事務局までご連絡ください。)

鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局:鹿児島県庁 暮らし保健福祉部 医療人材確保対策室内)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5552

<http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/doctorbank/kyougikai/index.html>